

トップ

朝刊・夕刊



LIVE





Myニュース

警視庁、不正輸出容疑で再逮捕 社長ら3人 韓国に規制対象品

2020年5月27日 2:00 [有料会員限定]



生物兵器製造に転用可能な噴霧乾燥装置「スプレードライヤ」の不正輸出事件で、韓国企業にも装置を無許可で輸出したとして、警視庁公安部は26日、外為法違反（無許可輸出）の疑いで、機械製造会社「大川原化工機」（横浜市都筑区）の社長、大川原正明容疑者（）＝＝ら3人を再逮捕した。3人は中国に同様の装置を不正輸出したとして3月に逮捕、起訴されている。

他の2人は同社顧問、相嶋静夫容疑者（）＝＝と元役員、島田順司容疑者（）＝＝。

再逮捕容疑は共謀し、2018年2月21日、輸出規制の対象と知りながら、経済産業相の許可を得ずにスプレードライヤ1セット（約800万円）を韓国の大手化学製品製造会社に輸出した疑い。公安部は3人の認否を明らかにしていない。

スプレードライヤは、液体を霧状にし、熱風で乾燥させて粉状にする装置。経済産業省が外為法に基づいて定めた輸出貿易管理令のリストで規制対象となっている。軍事用の細菌製剤の製造や散布に利用される恐れがある。

公安部は輸出先の韓国企業が装置をリチウム電池の製造に使っていた可能性があるともみている。